

六甲高山植物園 夏の高原を彩る花 ニッコウキスゲが見頃を迎えました!

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:藤原崇起)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治)が運営する六甲高山植物園では、夏の高原を彩る花「ニッコウキスゲ」が見頃を迎えております。

高原にさわやかな夏を呼ぶ花として人気が高いニッコウキスゲ。今年は例年と比較し、1週間早く開花しました。関西に自生地はありませんが、六甲高山植物園では2か所で植栽しており、現在早咲きの亜高山帯タイプ約1,000株の群落が見頃を迎えています。6月下旬頃には高原タイプの2,000株が随時開花するため、長い期間ご観賞いただけます。



◆ニッコウキスゲ(ユリ科)

北海道、本州(中部以北)の亜高山帯の湿り気がある草原に生える多年草です。尾瀬や霧ヶ峰の群落が有名で、高さは40~70cmになります。花は一日花で、朝開いて夕方には閉じてしましますが、一本の茎にたくさんの蕾をつけ、それが次から次へと咲くために、全体としては長い間楽しむことができます。

当園に咲くニッコウキスゲは、亜高山帯タイプが見頃を迎え、6月中旬頃までお楽しみいただける見込みです。その後も高原タイプの群落が6月下旬頃より咲き始め、7月下旬まで咲き誇ります。

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137

住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】3月19日(土)~11月23日(水・祝) 【休園日】9月1日(木)、8日(木)

【開園時間】10:00~17:00 (16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)620円/小人(4歳~小学生)310円/シニア(65歳以上)520円